



- 1.患者さんの権利と意思を尊重します。
- 2.地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
- 3.教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

群馬県立がんセンターだより

第52号

発行：令和5年3月

発行元：群馬県立がんセンター

GUNMA PREFECTURAL CANCER CENTER NEWS



群馬県立がんセンター副院長
湊 浩一

がん相談支援センターの活用と治験協力を

新型コロナウイルス感染症が流行して、3年が経過しました。まだなお、日々感染に注意をして生活している状況です。がんに関しても検診や診療に大きな影響を与えており、検診の受診率の低下や病院・診療所への受診控えをさせているようです。

そんな中ではありますが、ここ最近でも、がんの治療薬である分子標的薬や免疫に関連する薬剤が次々と承認され、診療で使われるようになっていきます。薬剤承認までの過程は、前段階として、治験（薬剤の治療成績を集める臨床試験）が行われ、がん患者さんに対する有効性と安全性が評価されます。有効性と安全性が確認されると国（厚生労働省）が薬剤の使用を許可し、健康保険で使えるようになります。当院でもいろいろな診療科でがん治療薬物の治験が行われています。新しい薬剤が一刻でも早く承認され、診療の場で使い、多くの方に恩恵があるようにしたいと考えています。積極的なご協力をお願いしたいと思います。

このようにして通常の診療で使えるようになる薬剤ですが、前述した分子標的薬や免疫関連の薬剤はかなり高額なもので、医療費の負担も大きくなっています。医療費に関する社会制度や不安などのご相談がありましたら、当院の1階にあります、がん相談支援センターを訪ねてください。ここでは、医療費だけでなく様々な相談に応じております。例えば、がんの診療自体に関すること、療養環境や介護に関すること、就労に関すること、心理的なケアのことなどさまざまな相談に対応しております。当院では年間約14000件の相談を受けております。まずは場所だけでも確認いただきたいと思います。心配や不安のない状況で種々の検査、治療を受けることが大事ですので、何かわからないことがありましたら、相談支援センターをご活用いただきたいと思います。

がん専門病院である当院は、上記の他に、各種勉強会なども行ない、がん診療の拠点にふさわしい病院として努力しています。皆様のご協力もお願い申し上げます。

部署紹介

手術室



手術療法は、この10年あまりで術式が大きく変わって来ました。開腹や開胸手術の多くが、腹腔鏡や胸腔鏡による内視鏡手術へと移行し、当院でも2019年からはロボット支援手術（ダビンチ）が導入されました。開腹手術と比較して術中出血量や術後の痛みの減少など低侵襲と言われている内視鏡手術ですが、二酸化炭素による気腹や気胸、術中の特殊な体位など、手術中は必ずしも低侵襲ではありません。急激な血圧低下上昇などの循環変動、高炭酸ガス血症、無気肺など呼吸の問題、新たな合併症への対策も必要となってきました。その中で手術部（手術室・ICU）は、患者様が安心して手術を受けていただけるよう周術期の安全管理に努めています。手術室は、特にチーム医療の実践が必要不可欠とされる部署です。新型コロナへの対応を含め、周術期の感染性合併症への対策も重要な課題です。高齢化に伴い糖尿病などの併存症も増え、手術を安全に実施するために術前評価の重要性が高まっています。スタッフによる術前訪問や評価を基にした術前カンファレンス、事前シミュレーション、タイムアウトを通して情報を共有して手術に臨んでいます。術式や医療材料／機器の増加や複雑化に対応して知識や技術のレベルアップとアップデートを継続し、手術や準備の長時間化に対しては、人員配置の見直しや変更など、コスト管理も意識しながら様々な工夫で対応しています。緊急手術もできる限り就業時間内に実施するようにして安全確保に努めています。これからも様々な変化に対応しながら安全な手術を提供し続けるために、一人一人が意見を持ってチームとして連携して業務を行なっています。

行事紹介

「第3回がん診療連携大会」をオンライン開催しました!

令和4年11月2日(水)に地域医療機関の医師等との意見交換、交流を目的とした「第3回がん診療連携大会」を本年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染対策のためオンラインにて開催しました。

前回好評だった「診療科・部紹介」に加えて、「当院の現況報告」と銘打ち、昨年の事前アンケートで寄せられた意見や要望の中で、当院における現在の取組状況や対応などを報告しました。「診療科・部紹介」については発表の持ち時間を増やしたことにより、いずれの診療科の発表も医師紹介のみにとどまらず、診療の現状・患者紹介の対象疾患などが具体的で分かりやすく、参加した地域の先生方にとっては一度に様々な診療科の情報を知る良い機会になったと思います。

また一方的な配信の印象を無くし、少しでも臨場感や交流感を演出する目的で当院の発表者の顔を映すだけでなく、院外の参加者にも顔出しをしていただけるように直前の案内にてお願いしました。顔が見える関係作りにおいて大変有意義な試みだったと思います。



がんセンターでは、季節を感じる行事を実施しています

○お花見の会○

昨年は3月30日に患者さんと一緒に「お花見の会」を実施しました。今年もきれいな花が咲くといいですね。



外来診療のご案内(外来担当医一覧表)

令和5年3月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器			保坂尚志	保坂尚志	保坂尚志 (午後新患)
		血液	村山佳予子 血液内科(午後新患)	入沢寛之 村田直哉	村山佳予子 血液内科(午後新患)	村山佳予子 村田直哉	入沢寛之 血液内科(午前新患)
		呼吸器	湊浩一 (午後/禁煙外来) 呼吸器内科 (午後新患)	増渕健		呼吸器内科 (午前新患) 午後/湊浩一	
	外科	消化器			尾嶋仁 榎田泰明 持田泰 高田考大 鈴木雅貴	尾嶋仁(新患) 榎田泰明 持田泰 高田考大 鈴木雅貴	尾嶋仁 榎田泰明 持田泰 高田考大 鈴木雅貴
		乳腺	柳田康弘 藤澤知巳 宮本健志 青木麻由	柳田康弘 藤澤知巳 宮本健志 青木麻由	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田康弘 宮本健志 (遺伝)
		呼吸器			田嶋公平 尾林海 (午後新患)		田嶋公平 尾林海 (午後新患)
		形成	廣瀬太郎				廣瀬太郎
		骨軟部腫瘍			柳川天志 (午前のみ)	柳川天志	
		(リンパ浮腫)	リンパ治療・指導	リンパ治療・指導	リンパ診断		
		(ストーマ外来)			午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来
第二外来	婦人科	中村和人 山下宗一 木暮圭子 西村俊夫	中村和人 山下宗一 木暮圭子 西村俊夫	鹿沼達哉 (第3のみ)	中村和人	中村和人 山下宗一 木暮圭子 西村俊夫	
	歯科口腔外科	名生邦彦	名生邦彦	名生邦彦		名生邦彦	
	頭頸科	清水祐理 (午前/新患のみ)			清水祐理	清水祐理	
	麻酔科	麻酔科医師				麻酔科医師 (午前/術前診察)	
	泌尿器科	清水信明 蓮見勝 泌尿器科医師 (午後/新患のみ)	清水信明 村松和道 泌尿器科医師 (午後/新患のみ)		清水信明 蓮見勝 村松和道	清水信明 蓮見勝	
	精神腫瘍科			村上忠			
放射線科	放射線	北本佳住(新患) 村田真澄 岡崎祥平	北本佳住 村田真澄 岡崎祥平(新患)	北本佳住 村田真澄 岡崎祥平	北本佳住 村田真澄 岡崎祥平	北本佳住 村田真澄(新患) 岡崎祥平	
腫瘍内科	腫瘍内科		荒木和浩		荒木和浩		

※緩和ケア外来の受診を希望される方は「がん相談支援センター」へお問い合わせください。直通電話:0276-60-0679

診療予約 *初診、再診ともに予約制です。

●初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

●がん検診について

当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってあります。

予約専用電話 **0276-38-0762**

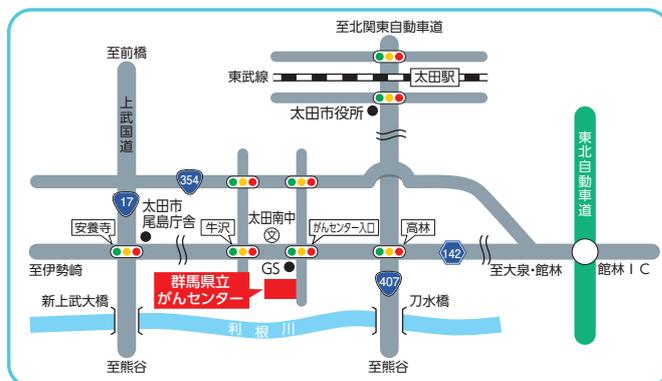
連携室 FAX **0276-60-0615**

電話受付時間/平日:午前9時~午後5時

土曜日:午前9時~午後1時

※ただし、診療を希望される前日の午後1時までにご連絡してください。

休診日/土・日曜日、祝日、年末年始



群馬県立がんセンター

〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1
 TEL.0276-38-0771(代) FAX.0276-38-0614
 URL <http://www.gunma-cc.jp>